

NAGAHAMA-SHI
TSURUGA-SHI
MINAMIECHIZEN-CHO

鉄道遺産+999+写真で巡る

長浜市・敦賀市・南越前町のまち



1 SNS CAMPAIGN &
PHOTO CONTEST



2 GALAXY EXPRESS 9X9X9
EXHIBITION



「銀河鉄道999」など数々の名作を世に生み出した巨匠・松本零士先生と
長浜市・敦賀市・南越前町の鉄道遺産がコラボレーション!!

©松本零士



銀河鉄道 999 × 福滋県境鉄道遺産回廊 コラボキャンペーン

CAMPAIGN #01

SNSキャンペーン&
フォトコンテスト

CAMPAIGN #02

銀河鉄道「9×9×9」展

2019 12.18 WED
2020 2.29 SAT
銀河鉄道999 × 福滋県境
鉄道遺産回廊

※詳細は裏面をご確認ください。

銀河鉄道 999 × 福滋県境鉄道遺産回廊 コラボキャンペーン



2019 12.18 WED
2020 2.29 SAT

CAMPAIGN #01

SNSキャンペーン&フォトコンテスト

3市町の鉄道遺産の写真を投稿して、松本先生が本企画のために描き下ろしたイラストのコラボグッズをゲットしよう！
また同時にフォトコンテストも開催！優秀作品には、なんと本賞のために作成した超レアコラボグッズをプレゼント！！

@tetsudouisankairo



SNSキャンペーン&フォトコンテスト応募方法

1 Instagramのアプリをインストールして 当協議会公式アカウント「福滋県境鉄道遺産回廊」 (@tetsudouisankairo)をフォロー	2 当協議会発行のマップ「記憶の旅へ」に記載されている 鉄道遺産の写真を投稿する。 (※対象鉄道遺産の詳細は本キャンペーンHPから確認)
3 投稿時は以下3つのハッシュタグをつける。 #福滋県境鉄道遺産回廊、#銀河鉄道999、#〇〇〇(撮影した市町名) (※ハッシュタグの前には半角スペースが必要です。ハッシュタグと認識されない場合があります)	4 ハッシュタグまたは本文にその鉄道遺産名も載せる。 正式名称でなくとも分かれればOK！ (例：鉄道スクエア、山中ロックシェッド、葉原トンネル 等)

■SNSキャンペーン概要

引換え施設にて投稿画面を提示された方に、オリジナルコラボグッズを差し上げます。

※引換え場所 長浜市：鉄道スクエア、敦賀市：敦賀鉄道資料館、
南越前町：今庄駅お土産販売所

【注意事項】

- ・引換え施設にて提示していただく投稿画面はその市町の鉄道遺産とします。
他市町の鉄道遺産の場合はグッズをお渡しできませんのでご了承ください。
- ・受取りは1ヶ所の施設(市町)につきお1人様1回のみです。

■フォトコンテスト概要

・キャンペーン期間終了後、上記「SNS投稿キャンペーン」に投稿された写真の中から
厳正なる審査の上当選者を決定(応募は何枚でも可ですが当選はお1人様1回のみ)。

「銀河鉄道999×福滋県境鉄道遺産回廊」賞：1点
長浜市/敦賀市/南越前町賞：各1点(計3点)
最多フォロワー賞(2月29日23時時点のフォロワー数)：1点、いいね！賞：10点

【注意事項】

- ・当選者へはInstagramダイレクトメッセージで連絡いたします。当選通知を受信後、
指定の期日までに送付先等の必要事項を返信してください。
- ・途中で公式アカウントのフォローを外した場合、途中でご自身のアカウントを削除した
場合、当選通知後指定期日までに返信がない場合は当選が無効となります。
- ・当選通知の発信は、3月中旬～下旬を予定しております。
- ・賞品の発送は国内に限らせていただきます。

■本キャンペーン応募規約

- ・「#福滋県境鉄道遺産回廊」「#銀河鉄道999」「#市町名」のハッシュタグを付けて
投稿した時点で本応募規約に同意したものとみなします。
- ・アカウントの非表示設定をオンにされている方は、応募対象外になります。
- ・投稿された写真は当協議会公式アカウントにリポート投稿される場合があります。
- ・参加者は投稿データを自らが投稿することについての適法な権利を有していること、
投稿データが第三者の一切の権利を侵害していないことについて、
本協議会に対し表明し、保障するものとします。
- ・プライバシーや著作権その他の権利について、第三者との間に紛争等が生じた場合、
本協議会は一切の責任を負わないものとし、応募者自身がその責任と一切の
費用負担により当該紛争等処理・解決していただくものとします。
- ・15歳未満の方は保護者の同意を得た上でご応募ください。
- ・参加者の個人情報は本キャンペーンの目的以外には一切使用いたしません。
- ・フォトコンテストの当選の有無や賞品に関するお問い合わせには対応できません。
- ・キャンペーンの実施内容および期間等は都合により予告なく変更になる場合があります。

その他詳細は、
本キャンペーンHPよりご確認ください！



CAMPAIGN #02

銀河鉄道「9×9×9」展

松本先生の貴重なイラストを大迫力のパネルにして展示！長浜市・敦賀市・南越前町の3箇所にて9枚ずつ展示する、「銀河鉄道 9×9×9」展です！
人気キャラクターだけでなく緻密で精巧な「999」の内部や外観など、貴重なイラストがもりだくさん。ぜひ松本零士ワールドを堪能しにきてください！！

展示場所

長浜市

鉄道スクエア
長浜市北船町1-41

敦賀市

敦賀鉄道資料館
敦賀市港町1-25

南越前町

今庄駅お土産販売所
南条郡南越前町今庄74-3

【注意事項】

- ・入館料がかかる施設の場合は、入館料をお支払いの上ご覧ください。
- ・開館日及び開館時間は、各施設の開館日及び開館時間に準じます。

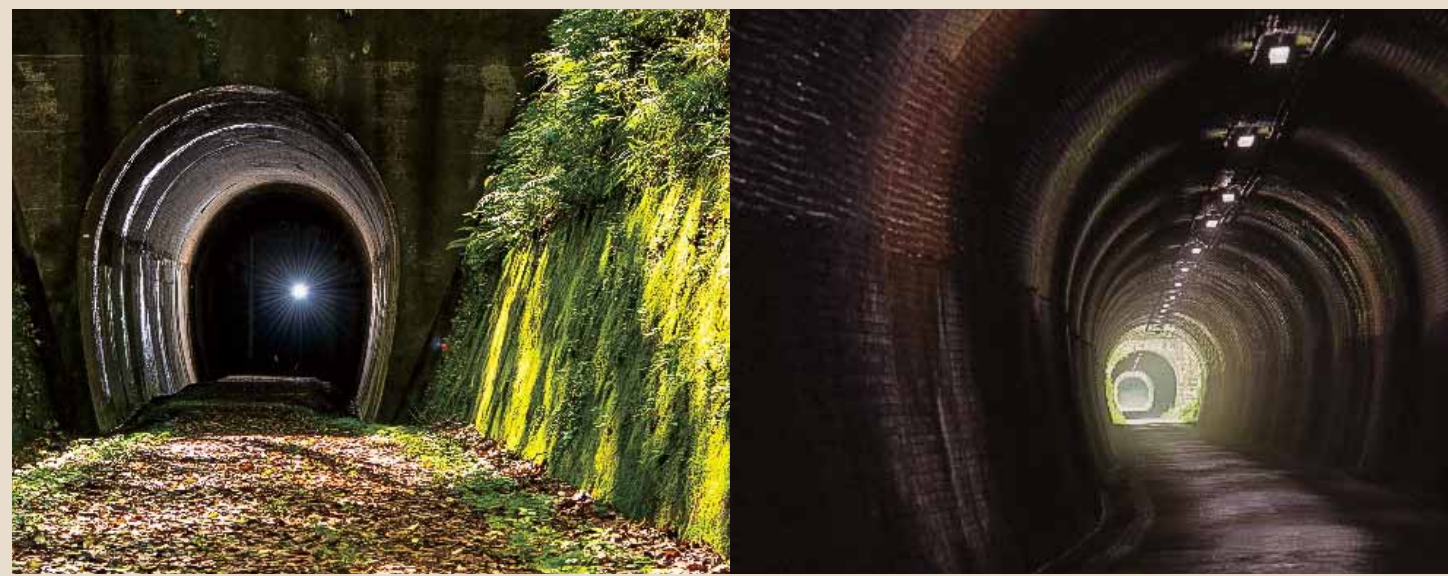


福滋県境 鉄道遺産回廊とは

古くから宿場町や港町として栄え、交通の要所として発展してきた滋賀県 長浜市と福井県 敦賀市、南越前町 今庄。明治維新を経て、近代国家への道を歩み始めた日本のなかで、3市町は鉄道で結ばれ、人と物資を運び、文化や経済の成熟を支えてきました。

長浜は、日本海と太平洋を結ぶ水陸交通のターミナルとして敦賀は、陸運と海運を結節する鉄道と港のまちとして今庄は、峠越えの挑む鉄道基地として――。

福井県と滋賀県にまたがる旧北陸線のエリアには、今も当時の歴史を偲ぶことができる鉄道遺産を中心とした貴重な近代化遺産が数多く残っています。



C-3 国指定重要文化財

福井県敦賀市

19 旧大和銀行
敦賀港の国際港への転身に貢献した大和田荘により建設された。この銀行設立により、敦賀港の中小零細商人らが救われ、敦賀港は開港外貿易港、外国貿易港に指定された。現在は歴史資料館として公開されている。

C-3 市指定有形文化財

福井県敦賀市

25 ランプ小屋
明治15年に建てられ、列車の灯火に使用されるカンデラの燃料を保管する油庫。旧長浜駅舎と並び現存する鉄道建築のひとつ。

C-2 国登録有形文化財

福井県敦賀市

31 竈路地谷トンネル
敦賀―今庄間にあり明治28年頃竣工。トンネル背面に砂防ダムが設けられているトンネル。

C-1 国登録有形文化財

福井県敦賀市

37 伊良谷トンネル
敦賀―今庄間にあり明治28年頃竣工。樫曲・栗原・山中トンネルと同じ意匠に整えられたトンネル。

E-1 福井県南越前町

43 今庄宿
江戸時代の今庄は、旅人が京や江戸と北陸を行き来する際に必ず通る場所であったため、北陸の玄関口、宿場町として栄え、明治以降は鉄道交通の要所、基地としても栄えた。

E-1 福井県南越前町

49 D51形481号蒸気機関車
昭和15年に製造され、山陽、伯備、山陰の各線を走り、急勾配の峠越えで活躍した主力機関車。北陸線の難所でデコイチとゆかりのある今庄に誘惑され、現在は今庄住民センター前に展示されている。

C-3 福井県敦賀市

20 敦賀鉄道資料館(旧敦賀港駅舎)
日本とヨーロッパをつなぐ欧亜国際連絡列車の発着駅であった敦賀港駅舎を再現。敦賀の鉄道に関する資料や模型などを展示している。

B-1 国登録有形文化財

福井県敦賀市

26 立石岬灯台
明治14年、日本人技師の手で造られた洋式灯台。そのレトロなたたずまいは、国際港敦賀の歴史を象徴している。

C-2 福井県敦賀市

32 杉津駅跡(北陸自動車道杉津PA上り)
当時「北陸線屈指の車窓風景」と車内アナウンスされたほどの景勝地。かつて大正天皇がお召列車で通過する際にもその絶景に見惚れたといわれている。

C-1 国登録有形文化財

福井県敦賀市・南越前町

38 山中トンネル
敦賀―今庄間にあり明治29年に竣工。開通当時、通信大臣「黒田清隆」が揮毫した扁額「徳垂後裔」と「功和千時」が掲げられたトンネル。旧北陸線(敦賀―今庄間)で最長となるトンネル。岩盤の堅さや漏水の影響を受けた難工事の末、3年かけて造られた。

E-1 国登録有形文化財

福井県南越前町

44 旅籠 若狭屋
旅籠屋は本陣や脇本陣とは違い、一般旅行者を泊めて食事を提供する宿のこと。今庄宿では、暮末に55軒もの旅籠屋があり、そのなかでも若狭屋は大きな旅籠屋であった。現在は、地元NPO法人が管理し、まちづくり活動の拠点として活用している。

D-1 国登録有形文化財

福井県南越前町

50 湯尾トンネル
今庄駅以北にあり明治28年頃竣工。旧北陸線トンネル群の中では最北に位置しているトンネルであり、敦賀側の入口の樫曲トンネルと同様の仕様に揃えるため、内壁が全て煉瓦造りである。

C-3 福井県敦賀市

21 欧亜国際連絡列車切符
明治45年に運行開始となった欧亜国際連絡列車の切符。この切符により、東京から敦賀、ウラジオストクを経由してベルリンまで行くことができた。

C-3 国登録有形文化財

福井県敦賀市

27 樫曲トンネル
敦賀―今庄間にあり明治26年竣工。旧北陸線トンネル群の中では最南に位置しているトンネルであり、峠越えのために掘られたトンネル群の出入り口として、内壁、ボーターがすべてレンガ積みという特別な意匠が施されている。

C-2 国登録有形文化財

福井県敦賀市

33 第一観音寺トンネル
敦賀―今庄間にあり明治27年竣工。地元の材料を用いて低単価で施工されたトンネル。

C-1 福井県南越前町

39 行き止まりトンネル
山中スイッチバックの折り返し線の延伸トンネルであり、輸送量の多い車両が待避できるように掘られたトンネル。

E-1 県指定有形文化財

福井県南越前町

45 京藤甚五郎家
今庄宿でひととき異彩を放つ家。江戸時代、酒造業を営む一方で、脇本陣にも指定された今庄宿有数の旧家。県内最古級の町家で、屋根には卯建が上がり、外壁は全面塗籠するなど、当家の財力と強い防災意識がうかがえる。

C-1 国登録有形文化財(西洋館)

福井県南越前町

51 北前船主の館 右近家
江戸後期～明治中期にかけて、物資の流通や文化の交流に重要な役割を果たした“北前船”をテーマとした資料館。全盛期には約30余隻を有した右近家の繁栄ぶりは、上方風切妻造瓦葺二階建の邸宅をはじめ、高台に建つ西洋館などに見ることができる。

F-8 県指定有形鉄道記念物

滋賀県長浜市

1 旧長浜駅舎
現存する日本最古の駅舎。敦賀への基点駅として、また長浜―大津間の鉄道連絡船の接続駅として、明治15年に建築された2階建ての洋風駅舎で鉄道創業時の状況を今に伝えている。現在は鉄道資料館として公開されている。

F-8 滋賀県長浜市

4 扁額「永世無窮」
旧北陸線栗原トンネルの北口にあった石額。終わることなく、鉄路が役立つことを願うという意味。

F-8 滋賀県長浜市

7 扁額「徳垂後裔」
旧北陸線山中トンネルの北口にあった石額。黒田清隆が揮毫し、この鉄路を完成させた徳は子々孫々まで残るという意味。

F-8 滋賀県長浜市

10 北国街道安藤家
安藤家は、江戸時代長浜の自治を委ねる十人衆の一家として、長浜町の発展に力を尽くした。建物は明治38年頃に建てられ、北大路魯山人が手掛けた、篆刻看板や離れにある天井絵などの装飾美でも知られている。また、「古翠園」と名付けられた庭園は、巨石をあしらった池泉回遊式庭園で、四季折々の風情を楽しめる。

E-5 滋賀県長浜市

13 中ノ郷駅跡
旧北陸線中ノ郷駅の跡。柳ヶ瀬越えのため、補機を付け替えるため、すべての車両が停車し、賑わったが、北陸線の付け替えにより、昭和39年廃駅となった。

C-4 福井県敦賀市

16 正田駅跡
正田第2会館の敷地にプラットホームの一部が残されている。

C-3 福井県敦賀市

22 人道の港敦賀ムゼウム
大正9年に受け入れたボランド孤児、昭和15年に杉原千畝が発給した「命のビザ」を持ったユダヤ人難民が敦賀に上陸した際のエピソードや当時の市民の証言などを展示している。

C-2 福井県敦賀市

28 栗原築堤
敦賀―今庄間にある旧北陸線の線路跡。緩やかなカーブが特徴的であり、旧北陸線の線路跡を伺いすることができる。現在は生活道路として活用されている。

C-2 国登録有形文化財

福井県敦賀市

34 第二観音寺トンネル
敦賀―今庄間にあり明治28年頃竣工。トンネル内部には、通信用架線跡やコンセント等が遺されている。

C-1 福井県南越前町

40 山中信号所跡
敦賀―今庄間に現存する、唯一のスイッチバック跡である。25/1000という単線の急勾配線路を列車が往来できるように、列車の折り返し線路と待避線路を併せ持っていた。

E-1 国登録有形文化財

福井県南越前町

46 明治庵
昭和7年に、田中と吉氏が、明治天皇が宿泊された本陣の居室を移築し、本陣跡に明治庵として建設した。また、その前庭を公徳園として整備し、憩いの場として提供した。

C-1 国登録有形文化財(西洋館)

福井県南越前町

51 北前船主の館 右近家
江戸後期～明治中期にかけて、物資の流通や文化の交流に重要な役割を果たした“北前船”をテーマとした資料館。全盛期には約30余隻を有した右近家の繁栄ぶりは、上方風切妻造瓦葺二階建の邸宅をはじめ、高台に建つ西洋館などに見ることができる。

F-8 滋賀県長浜市

2 D51形793号蒸気機関車
昭和17年製造。北陸線をはじめ、東北・東海道・中央の各線を、昭和45年まで運行。屋外に保存されていたが、平成15年に北陸電化記念館の開館にあわせて同館内に展示された。

F-8 滋賀県長浜市

5 扁額「興國威休」
旧北陸線栗原トンネル南口にあった石額。黒田清隆が揮毫し、同盟国がごとく盛んになることを願うという意味。

F-8 県指定有形鉄道記念物

滋賀県長浜市

8 旧長浜駅29号分岐器ポイント部
明治13年に長浜―敦賀間の鉄道建設のため、英国キャメル社の製品を輸入し、鉄道局神戸工場で部品を製作、組み立てて敷設された。現存する日本最古のポイント部であり、主要な鉄道部品が外国製であった時代を語る遺産。

F-8 国登録有形文化財

滋賀県長浜市

11 黒壁ガラス館
明治33年に第百三十国立銀行として建てられた本造洋館。平成元年から国内外のガラス製品を扱うガラスショップとしてオープンし、人気観光スポット「黒壁スクエア」のシンボルの存在。

D-4 滋賀県長浜市、福井県敦賀市

14 柳ヶ瀬トンネル
長浜―敦賀間の県境にまたがるトンネル。明治17年の完成当時、国内最長の1.352m。日本人技術者のみで建設され、難工事のため、完成までに4年の歳月を要した。現役トンネルでは国内で2番目に古い。

C-3 福井県敦賀市

17 眼鏡橋
明治14年竣工。旧北陸線草創期の鉄道遺産。市街地を流れる水路を列車が渡るために建設された。当時の鉄道建築の技術を知る遺産である。

C-3 国登録有形文化財

福井県敦賀市

23 敦賀赤レンガ倉庫(旧紐育スタンダード石油倉庫)
敦賀港が明治32年に国際港に指定され、アメリカからの石油の直輸入を開始した。その貯蔵庫。明治38年竣工。現在は鉄道ジオラマやカフェ等に活用されている。

C-2 国登録有形文化財

福井県敦賀市

29 栗原トンネル
敦賀―今庄間にあり明治29年竣工。南北のボーターに通信大臣(元首相)の黒田清隆が揮毫した扁額「興國威休」「永世無窮」が掲げられていたトンネル。

C-1 国登録有形文化財

福井県敦賀市

35 曲谷トンネル
敦賀―今庄間にあり明治28年頃竣工。石やレンガの積み方が丁寧かつ習作的で、官給品の煉瓦が使われているトンネル。

C-1 国登録有形文化財

福井県南越前町

41 山中ロックシェッド
敦賀―今庄間にあり昭和28年につくられた国内最初期のプレストレストコンクリート造の落石覆工である。峠越えをする蒸気機関車や線路を落石から守った遺構である。

E-1 国登録有形文化財

福井県南越前町

47 昭和会館
昭和5年に、田中と吉氏が「私財」を投じ、臨本陣跡に社会教育の拠点となる「昭和会館」を建設した。当時としては画期的な鉄筋コンクリート3階建ての建物は、宿泊できる研修の場として多くの団体に利用され、その後は、今庄町役場にも利用され、現在は公民館や地域交流の場として幅広く利用されている。

F-8 滋賀県長浜市

3 扁額「萬世永頼」
旧北陸線柳ヶ瀬トンネル東口に掲げられていた石額。伊藤博文が揮毫し、この鉄道が世のために働いてくれることを、いつまでも長く頼りにするという意味。

F-8 滋賀県長浜市

6 扁額「功和千時」
旧北陸線山中トンネルの南口にあった石額。黒田清隆が揮毫し、事業の完成は時代の要請にあっていう意味。

F-8 国指定名勝

滋賀県長浜市

9 慶雲館
明治20年、明治天皇の京都行幸啓の帰路、鉄道連絡船から鉄道へ乗り換える立ち寄り処として、長浜港と長浜駅の間に建設した迎賓館。豪商浅見又蔵が私財を投じたもので、命名は伊藤博文と伝わる。庭園は近代日本庭園の先覚者と呼ばれた七代目小川治兵衛の作庭で、国の名勝となっている。

E-6 国登録有形文化財

滋賀県長浜市

12 きのもと交遊館
旧江北銀行の建物を改築し、地域の活性化と地域の人々の交流、文化の発信基地としてきた施設で展示会や音楽会などを開催。

D-4 市指定有形文化財

福井県敦賀市

15 小力根トンネル
長浜―敦賀間にあり明治14年竣工の現存する日本最古の鉄道トンネル。日本で最も量産されたD51形蒸気機関車はこのトンネルのサイズに合わせて作られたといわれている。日本人技術者のみによる工事では京都～大津間に次いで2番目。

C-3 福井県敦賀市

18 C58形212号蒸気機関車
昭和46年まで小浜線で活躍していたC58形蒸気機関車が敦賀市内の本町第3公園に展示されている。

C-3 福井県敦賀市

24 旧敦賀港駅線路
明治時代につくられた敦賀駅から敦賀港駅への線路。かつて旅客・貨物列車が走っていたが、貨物量の減少により、現在は廃線となった。

C-2 国登録有形文化財

福井県敦賀市

30 鮎ヶ谷トンネル
敦賀―今庄間にあり明治28年頃竣工。旧北陸線トンネル群の中で最長となる長さ64mのトンネル。トンネルの施行者は鉄道・トンネル建設の実績がなかった地元業者であったが、この施行により資金と技術を手に入れたといわれる。

C-1 国登録有形文化財

福井県敦賀市

36 芦谷トンネル
敦賀―今庄間にあり明治27年竣工。官給の敷置された材料によりできたトンネル。

D-1 福井県南越前町

42 大桐駅跡
プラットフォーム跡が残る駅跡で、元々はスイッチバック式の大桐信号所であったが、地元住民の要望により、停車場に昇格した駅である。現在、地元区民によって設置されたD51形の動輪が展示されている。

E-1 福井県南越前町

48 今庄駅給水塔・給炭台
今庄駅構内に現存している遺構であり、今庄―敦賀間の峠越え前後に必要な木炭や水の補給に利用されていた。

各エリアまでの所要時間

バス	大阪	約100分	長浜	北陸自動車道	敦賀	北陸自動車道	今庄	北陸自動車道	金沢
車	名古屋	約60分		約30分	約20分	約80分			
鉄道	大阪	約100分	長浜	北陸本線 特急	敦賀	北陸本線 普通	今庄	北陸本線 特急・普通	金沢
	名古屋	約80分		約30分	約15分	約90分			

(お問い合わせ) 滋賀県 長浜市 産業観光部 観光振興課 TEL.0749-65-6521
福井県 敦賀市 産業経済部 観光振興課 TEL.0770-22-8128
福井県 南越前町 観光まちづくり課 TEL.0778-47-8002

長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会

福滋 県境 鉄道遺産回廊

鉄道遺産でつながる3市町
滋賀県 長浜市
福井県 敦賀市・南越前町(今庄)
旧北陸線をつなぐ3つのエリアを巡る。

